

区分・種別	県指定史跡		
名称	あながみどういせき 穴神洞遺跡		
所在地	西予市城川町川津南		
所有者	三柱神社	管理団体	
指定年月日	昭和51年4月16日		
解説	<p>黒瀬川上流の安尾川に面して南向きに「穴神洞」と呼ばれる鍾乳洞が開口している。この鍾乳洞上部の開口部付近に縄文人が生活していた遺跡がある。</p> <p>昭和45（1970）年から49（1974）年までに行われた3回の発掘調査によると、8層の堆積層序間に6層の文化層が確認された。第6文化層は約12000年前とされ、微隆起線文<small>びりゅうきせんもん</small>をもつ土器や、ニッポンオオツノジカの骨など、多くの獣骨が発見された。その調査現場が今も残され土層を見ることができる。</p> <p>また、第4文化層は8000年前、第3文化層は7000年前、第2文化層は3000年前くらいと推定され、各時代の土器、石器貝類の装身具等が出土している。</p> <p>国指定史跡上黒岩岩陰遺跡とほぼ同時期のものであり、縄文時代の研究に欠くことのできない貴重な遺跡といえよう。</p>		

